



## 2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社マーベラス

コード番号 7844 URL <https://corp.marv.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 許田 周一

問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役 管理統括本部長 (氏名) 加藤 征一郎 TEL 03-5769-7447

四半期報告書提出予定日 2021年2月2日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	17,292	△6.8	3,340	58.2	3,286	53.9	2,344	75.4
2020年3月期第3四半期	18,546	△8.2	2,111	△49.9	2,135	△50.2	1,336	△53.0

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 2,332百万円 (79.8%) 2020年3月期第3四半期 1,297百万円 (△55.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	40.32	-
2020年3月期第3四半期	25.84	-

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	33,013	25,675	77.8	425.37
2020年3月期	26,238	20,099	76.6	388.48

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 25,675百万円 2020年3月期 20,099百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	-	0.00	-	33.00	33.00
2021年3月期	-	0.00	-	-	-
2021年3月期（予想）	-	-	-	33.00	33.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有  
配当予想の修正については、本日（2021年1月29日）公表いたしました「通期業績予想の修正および期末配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	△5.4	3,600	47.0	3,550	41.9	2,450	36.3	42.14

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有  
連結業績予想の修正については、本日（2021年1月29日）公表いたしました「通期業績予想の修正および期末配当予想に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料P. 6「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	62,216,400株	2020年3月期	53,593,100株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,856,446株	2020年3月期	1,856,367株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	58,133,641株	2020年3月期3Q	51,730,026株

（注）期末自己株式数については、「株式給付信託（BBT）」の信託財産として、株式会社日本カストディ銀行（信託E口）が所有している483,900株を含めて記載しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

詳細につきましては、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	6
(追加情報)	6
(四半期連結貸借対照表関係)	6
(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)	7
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	8
(株主資本等関係)	8
(セグメント情報等)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるエンターテインメント業界は、国内のモバイルゲーム市場におきましては、引き続き活況を呈し多くの新作タイトルがリリースされる一方、一部のヒットタイトルに人気が集中する傾向が続き、競争環境はさらに激しさを増しました。国内家庭用ゲーム市場におきましては、次世代ゲーム機PlayStation 5、Xbox Series X/Sが発売され大きな話題となる中、ハード・ソフトともに好調に推移いたしました。アミューズメント市場におきましては、売上が回復基調にありましたが、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い11月後半から施設への来場者が減少し、厳しい状況が続きました。音楽映像市場におきましては、パッケージ市場の縮小傾向が続く一方、動画配信市場については配信サービスのグローバル化とともに、5Gの普及などの配信環境の変化により、今後拡大することが予想されています。ライブエンターテインメント市場におきましては、イベント人数制限の緩和など回復の兆しが見えつつも、依然厳しい市場環境が続きました。

このような状況下、当社グループは、多彩なエンターテインメントコンテンツをあらゆる事業領域において様々なデバイス向けに展開する「マルチコンテンツ・マルチユース・マルチデバイス」戦略を基軸とした総合エンターテインメント企業として、強力なIPの確立に向けたブランディング戦略・アライアンス戦略・グローバル戦略を積極的に推進し、話題性の高いコンテンツの提供とサービスの強化に取り組んでまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）の経営成績は、売上高17,292百万円（前年同期比6.8%減）、営業利益3,340百万円（前年同期比58.2%増）、経常利益3,286百万円（前年同期比53.9%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益2,344百万円（前年同期比75.4%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

#### ①オンライン事業

当事業におきましては、周年施策を実施した『シノビマスター 閃乱カグラ NEW LINK』と『剣と魔法のログレス いにしえの女神』が引き続き堅調に推移いたしました。5月に配信を開始したスマートフォン向けゲームアプリ『一騎当千エクストラバースト』につきましては、プロモーション効果などにより新規ユーザーが増加しながらも継続率が上がらず低調な推移となりました。その他、前期における不採算タイトルの整理等の効果もあり、利益率が上昇いたしました。

この結果、当事業の売上高は5,788百万円（前年同期比3.1%減）、セグメント利益は1,331百万円（前年同期はセグメント利益120百万円）となりました。

#### ②コンシューマ事業

当事業のゲームソフト販売部門におきましては、11月にPlayStation 4/Nintendo Switch/Windows PC向けに全世界で発売した和風アクションRPG『天穂のサクナヒメ』が、本格的な稲作体験ができる点が大きな話題となり、世界累計出荷本数85万本（2021年1月29日時点）を超える大ヒットを記録しております。また、2007年に発売した『ノーモア★ヒーローズ』と、2010年に発売した『ノーモア★ヒーローズ2 デスパレート・ストラグル』のNintendo Switchダウンロード版を10月28日に発売し、北米・欧州で好調なセールスを記録いたしました。しかしながら、アミューズメント部門におきましては、新型コロナウイルスの影響を大きく受け、9月に稼働開始したポケモンアミューズメントマシンの最新作『ポケモンメザスタ』をはじめ、各タイトルでインカムが低下いたしました。『ポケモンガオーレ』の海外展開につきましては、稼働開始した地域においては好調に推移いたしました。

この結果、当事業の売上高は8,834百万円（前年同期比1.4%増）、セグメント利益は2,474百万円（前年同期比27.8%増）となりました。

#### ③音楽映像事業

当事業の音楽映像制作部門におきましては、TVアニメ『アクダマドライブ』を10月から放送し、一部パッケージ商品化を行いました。また、新型コロナウイルスの影響で公開が延期されていた劇場版ブリキアの最新作『映画ブリキアミラクルリーグ みんなの不思議な1日』が10月31日に公開となりました。ステージ制作部門におきましては、それぞれのシリーズ最新作となる「『家庭教師ヒットマンREBORN!』 the STAGE -隠し弾(SECRET BULLET)-」、「舞台『血界戦線』Beat Goes On」、「PERSONA5 the Stage #2」に加え、新作として「ミュージカル『新テニスの王子様』The First Stage」、「ミュージカル『グッド・イブニング・スクール』」の公演を実施いたしました。また、新しい取り組みとして、オリジナルコメディドラマ『ハンサムセンキョ』を10月から放送いたしました。舞台公演につきましては、政府によるイベント収容人数規制の緩和後、徐々に収容率を上げて公演を実施いたしました。上期の公演中止等が響き、前年同期比で減収減益となりました。

この結果、当事業の売上高は2,681百万円（前年同期比30.8%減）、セグメント利益は626百万円（前年同期比44.5%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当社グループの当第3四半期連結会計期間末における財政状態は、資産33,013百万円（前連結会計年度末比6,774百万円増）、負債7,337百万円（前連結会計年度末比1,198百万円増）、純資産25,675百万円（前連結会計年度末比5,576百万円増）となりました。

（流動資産）

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は、現金及び預金、受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加等により23,782百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,249百万円増加いたしました。

（固定資産）

当第3四半期連結会計期間末における固定資産は、有形固定資産の増加等により9,230百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,524百万円増加いたしました。

（流動負債）

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は、未払印税、未払法人税等の増加等により7,197百万円となり、前連結会計年度末に比べ1,174百万円増加いたしました。

（固定負債）

当第3四半期連結会計期間末における固定負債は、資産除去債務の増加により139百万円となり、前連結会計年度末に比べ23百万円増加いたしました。

（純資産）

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、第三者割当増資の払込に伴い資本金2,483百万円、資本剰余金2,483百万円を計上したこと、及び親会社株主に帰属する四半期純利益2,344百万円を計上したことにより25,675百万円となり、前連結会計年度末に比べ5,576百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月30日発表の業績予想を変更いたしました。当期第3四半期に発売いたしました新作ゲームソフト「天穂のサクナヒメ」が計画を大きく上回る販売を記録しており、第4四半期におきましても当社主力IPである「牧場物語」の完全新作の発売を控え、予約状況も非常に好調であり、当期業績への貢献が期待されます。また、オンラインゲームにおきましても既存タイトルが堅調に推移しております。一方で、アミューズメント事業や舞台公演事業につきましては、新型コロナウイルス感染症拡大による外出自粛等の影響を大きく受けており、現在も緊急事態宣言が発出される中、先行きが見えない厳しい事業環境下におかれております。今後も新型コロナウイルス感染症収束の見通しが立たない状況ではありますが、好調部門の売り伸ばしによりマイナス要因をカバーすべく、積極的なプロモーション活動を行ってまいります。以上の理由により、前回発表の通期業績予想数値を修正いたしました。

詳細につきましては、本日（2021年1月29日）公表いたしました「通期業績予想の修正および期末配当予想に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	11,169	14,837
受取手形及び売掛金	3,684	4,261
電子記録債権	115	※170
たな卸資産	1,475	2,572
その他	2,102	1,943
貸倒引当金	△14	△2
流動資産合計	18,533	23,782
固定資産		
有形固定資産	301	1,431
無形固定資産	752	1,177
投資その他の資産		
投資有価証券	4,696	4,709
その他	1,970	1,927
貸倒引当金	△15	△15
投資その他の資産合計	6,652	6,621
固定資産合計	7,705	9,230
資産合計	26,238	33,013
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	992	930
短期借入金	200	160
未払金	2,253	1,511
未払印税	1,510	2,207
未払法人税等	44	759
引当金	334	300
その他	687	1,327
流動負債合計	6,023	7,197
固定負債		
役員株式給付引当金	67	67
資産除去債務	48	71
固定負債合計	115	139
負債合計	6,139	7,337
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,128	3,611
資本剰余金	6,260	8,744
利益剰余金	14,720	15,341
自己株式	△1,923	△1,923
株主資本合計	20,186	25,774
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△45	15
為替換算調整勘定	△42	△114
その他の包括利益累計額合計	△87	△99
非支配株主持分	0	0
純資産合計	20,099	25,675
負債純資産合計	26,238	33,013

(2) 四半期連結損益及び包括利益計算書  
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	18,546	17,292
売上原価	9,990	8,005
売上総利益	8,556	9,286
販売費及び一般管理費	6,444	5,946
営業利益	2,111	3,340
営業外収益		
受取利息	61	45
貸倒引当金戻入額	2	2
その他	12	8
営業外収益合計	76	57
営業外費用		
支払利息	0	0
為替差損	50	108
その他	1	1
営業外費用合計	52	110
経常利益	2,135	3,286
特別利益		
公演中止損失清算益	—	※1 124
特別利益合計	—	124
特別損失		
固定資産売却損	0	—
投資有価証券評価損	18	—
特別退職金	※2 24	—
減損損失	—	※3 28
公演中止損失等	—	※4 42
特別損失合計	44	71
税金等調整前四半期純利益	2,091	3,339
法人税等	755	994
四半期純利益	1,336	2,344
(内訳)		
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,336	2,344
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	0
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△18	61
為替換算調整勘定	△20	△72
その他の包括利益合計	△39	△11
四半期包括利益	1,297	2,332
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,297	2,332
非支配株主に係る四半期包括利益	0	0

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2020年5月25日開催の取締役会決議に基づき、2020年6月11日付で、Image Frame Investment (HK) Limitedから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が2,483百万円、資本剰余金が2,483百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,611百万円、資本剰余金が8,744百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(取締役に対する株式報酬制度)

当社は、2016年6月21日開催の第19回定時株主総会決議に基づき、中長期的な業績向上と企業価値の増大に貢献する意識を高めることを目的とし、株式報酬制度「株式給付信託(BBT(=Board Benefit Trust))」を導入しており、2020年12月25日開催の取締役会決議に基づき、一部内容を改定の上、制度を継続しております。当該信託契約に係る会計処理については、「従業員等に信託を通じて自社の株式を交付する取引に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第30号 2015年3月26日)に準じて、総額法を適用しております。

(1) 取引の概要

当社は、取締役及び執行役員に役位及び業績達成度等により定まるポイントを付与し、一定の条件により受給権を取得したときに当該付与ポイントに相当する当社株式等を給付します。

取締役及び執行役員が当社株式等の給付を受ける時期は、原則として退任後となります。

取締役及び執行役員に対し給付する株式については、予め信託設定した金銭により将来分も含め取得し、信託財産として分割管理するものとします。

(2) 信託に残存する自社の株式

信託に残存する当社株式を、信託における帳簿価額(付帯する費用の金額を除く。)により、純資産の部に自己株式として計上しております。当該自己株式の帳簿価額及び株式数は、前連結会計年度414百万円、483,900株、当第3四半期連結会計期間414百万円、483,900株であります。

(新型コロナウイルス感染症の影響に関する会計上の見積り)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症拡大の影響が少なくとも一定期間続くとの仮定のもと会計上の見積りを会計処理に反映しております。なお、当該会計上の見積りの仮定については前連結会計年度から重要な変更はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

※ 四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権

四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権の会計処理については、手形交換日又は決済日をもって決済処理をしております。なお、当四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形及び電子記録債権が四半期連結会計期間末日残高に含まれております。

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
電子記録債権	一百万円	3百万円



(四半期連結損益及び包括利益計算書関係)

※1 公演中止損失清算益

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

新型コロナウイルスの影響を受け、舞台公演を中止したことにより発生すると見込まれた損失について、前連結会計年度に計上した公演中止損失等に関する清算差額であります。

※2 特別退職金

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

国内子会社において特別退職を実施したことによるものであります。

※3 減損損失の内容は次のとおりであります。

当社グループは、以下の資産について減損損失を計上いたしました。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

①減損損失を認識した資産

用途	種類	場所	減損損失
業務管理システム	ソフトウェア仮勘定	東京都品川区	28百万円

②減損損失の認識に至った経緯

業務管理システムについては、将来の使用見込みが無くなったため、減損損失を認識しております。

※4 公演中止損失等

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

新型コロナウイルスの影響を受け、舞台公演等を中止したことによるものであります。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
減価償却費	701百万円	555百万円
のれんの償却額	142百万円	－百万円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至2019年12月31日）

配当金支払額

2019年5月13日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

- |            |            |
|------------|------------|
| ① 配当金の総額   | 1,723百万円   |
| ② 1株当たり配当額 | 33円00銭     |
| ③ 基準日      | 2019年3月31日 |
| ④ 効力発生日    | 2019年6月3日  |
| ⑤ 配当の原資    | 利益剰余金      |

(注) 配当金の総額には、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式 (2019年3月31日基準日：500,000株) に対する配当金16百万円が含まれております。

当第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至2020年12月31日）

1. 配当金支払額

2020年5月12日の取締役会において、次のとおり決議しております。

・普通株式の配当に関する事項

- |            |            |
|------------|------------|
| ① 配当金の総額   | 1,723百万円   |
| ② 1株当たり配当額 | 33円00銭     |
| ③ 基準日      | 2020年3月31日 |
| ④ 効力発生日    | 2020年6月9日  |
| ⑤ 配当の原資    | 利益剰余金      |

(注) 配当金の総額には、「株式給付信託 (BBT)」が保有する当社株式 (2020年3月31日基準日：483,900株) に対する配当金15百万円が含まれております。

2. 株主資本の金額の著しい変動

当社は、2020年5月25日開催の取締役会決議に基づき、2020年6月11日付で、Image Frame Investment (HK) Limitedから第三者割当増資の払込みを受けました。この結果、当第3四半期連結累計期間において資本金が2,483百万円、資本剰余金が2,483百万円増加し、当第3四半期連結会計期間末において資本金が3,611百万円、資本剰余金が8,744百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	オンライン 事業	コンシューマ 事業	音楽映像 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,958	8,714	3,873	18,546	—	18,546
セグメント間の内部売 上高又は振替高	17	—	0	17	△17	—
計	5,975	8,714	3,874	18,564	△17	18,546
セグメント利益	120	1,936	1,127	3,184	△1,073	2,111

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,073百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	四半期連結損 益及び包括利 益計算書計上 額(注) 2
	オンライン 事業	コンシューマ 事業	音楽映像 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	5,787	8,834	2,670	17,292	—	17,292
セグメント間の内部売 上高又は振替高	1	—	11	12	△12	—
計	5,788	8,834	2,681	17,304	△12	17,292
セグメント利益	1,331	2,474	626	4,432	△1,092	3,340

(注) 1 セグメント利益の調整額△1,092百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益及び包括利益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

(単位:百万円)

	オンライン事業	コンシューマ事業	音楽映像事業	全社・消去	合計
減損損失	—	—	—	28	28

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
1株当たり四半期純利益	25円84銭	40円32銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	1,336	2,344
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益(百万円)	1,336	2,344
普通株式の期中平均株式数(株)	51,730,026	58,133,641

- (注) 1 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。
- 2 「株式給付信託(BBT)」制度に関する株式会社日本カストディ銀行(信託Eロ)が所有する自社の株式は、1株当たり四半期純利益の算定上、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております。1株当たり四半期純利益の算定上、控除した当該自己株式の期中平均株式数は、前第3四半期連結累計期間490,633株、当第3四半期連結累計期間483,900株であります。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。